

科学機器業界について

【科学機器とは】

科学機器は、海洋・気象・医療・薬学そしてバイオなど、一口では説明できない程の広がりとお行きを持つ分野で活躍しています。自動車や家電製品などの製造産業と異なり、間接的に全産業の発展に寄与している特異な産業です。

基礎研究分野をはじめ全産業の研究開発、製造技術を下支えする支援産業と言えます。例えば、以下のような機器・設備を科学機器といいます。

- 基礎的な分野で使用される汎用機器・理化学機器。
- 計測・分析手法の飛躍的な発展から科学機器の先端部分ともいえる分析機器。
- 実験台、クリーンルームなどの設備。
- 化学・物理・工学に関連する実験・計測・研究用の機器・設備。
- 大気・水質・土壌・騒音などの環境測定機器。
- 二次電池・石油・高分子・紙・繊維・食品分野などのあらゆる産業分野における品質試験機器。

このように、科学機器は、実験室規模のものから小規模生産設備まで、我国の科学技術創造立国の基盤を支えています。



【科学機器業界で求められる人材】

科学機器業界は、その取り扱う製品や技術がニッチで多岐な分野に亘るために、メーカー（製造業）・ディーラー（販売業）・インポーター（輸入業）も、等しく重要な位置を占めており、どれか一つ欠けてもいけない業態です。

日科連※の各地区科学機器協会会員約1200社の中小企業は、ライフサイエンス、情報通信・エレクトロニクス、ナノテク・材料・検査、環境・エネルギー、地質、標準・計測等の研究分野において、高度な研究・検査・計測機器等の企画・開発・設計部門から製造部門、販売・サービス部門まで様々な部門で人材を求めています。理系・文系を問わずに、一番求められるのがコミュニケーションに優れた人材です。

※日科連：日本科学機器団体連合会の略称

【科学機器業界で働くことの魅力】

我国の科学技術の基盤を支えている科学機器の用途は、下記のように多岐に亘っています。

- 試験管・ビーカー・フラスコなどのガラス器具類や乾燥器・電気炉、遠心機、顕微鏡などの汎用機器・理化学機器は、基礎的な分野で。
- 電子顕微鏡などの解析装置やガスクロ、液クロ、X線分析装置などは、食品・薬品・アグリ・金属など最先端の分析分野で。
- 実験台、クリーンルームなどの設備・機器は、化学・物理・工学に関連する実験・計測・研究分野で。
- 環境測定機器は、大気・水質・土壌・騒音などの分野で。
- 品質試験機器は、二次電池・石油・高分子・紙・繊維・食品などあらゆる産業で。

このように、海洋・気象・医療・薬学そしてバイオ分野等における、実験室規模のものから小規模生産設備まで、あらゆる分野の技術革新のために貢献する、やりがいのある職種です。



▲ロータリーエバポレーター



▲デジタル顕微鏡



▲葉面積計



▲走査型顕微鏡



▲工業試験～生産用ファーメンター



▲実験・研究設備

【当業界の主なキャリアプラン】

当業界では、「ものづくり」を重視し、新入社員に製造現場での研修を取り入れています。

配属部門では、専門OJT※が基本で、機械設計、電気、電子、ソフト製作等専門性に優れた技術・知識を持った先輩から、いろいろな分野について学ぶことができます。また、社外の新入社員研修や営業社員セミナーにも積極的に参加して、販売手法や最新の技術情報を吸収する事が出来ます。

※専門OJTとは、on-the-job trainingの略。職場にいる従業員を職務遂行の過程で訓練すること。職場訓練、職場指導、職務上指導などともいう。